えりも町議会

令和4年2月1日 No.40

令和3年度 所管事務調査 12月定例会·臨時会 10「この人に聞く」 議長年頭の挨拶 ALT(英語指導助手) P3-7 一般質問6名 9件 ラッセル フェルナンデス さんにイソタビュー P7-8 全員協議会

N42°の会 会員11名、三角山に登る

1月4日、恒例の「新春里山歩き」が行われ、晴天、強風のなか、本町の三角山に1時間ほどかけて登りました。頂上の三角点付近からは、眼下に沢町のお寺、えりも港に浮かぶ漁船、自衛隊官舎などが望まれ、ゆうに20mは超えると思われる強風にさらされ足元もふらつく中、各自急ぎシャッターを切っていました。 風下の斜面で休憩、記念撮影をして、30分ほどで無事下山しました。

多山 就切 0

補正予算

一般会計 (歳出)

児童措置費

給付金 子育て世 帯 への臨時特別 7270万円

財政管理費

2853万円

立 援金を財政調整基金 高 対策協議 J R 日 高 地域広域 会まちづくり支 線 公共交通確保 廃止に伴う日 へ積

水産業振興費

赤潮被害対策事業補助金

1500万円

土木管理費

申 住宅改修工事等補助金の 請見込件数の増

小学校施設維持費

えりも岬小学校の地下タ ンク等の修繕料 200万2千円

第5回

臨時会

道路維持費

209万7千円

た町道の災害対応費用 9月18日の大雨で被災し

河川維持費

490万3千円

た河川の災害対応費用 9月18日の大雨で被災し

道路橋梁災害復旧費

線の災害復旧等の費用 が崩落した南東洋 月 18 日 の大雨により法 2000万円 :油駒

も最大の努力をしてまいります。

ても町に対して緊急の要請を行ったところですが、

議会としてもコロナ禍に続き、

赤潮被害の対策につい

面 9

診療所 一般管理費

国保診療所ナースコー 800万円

設備更新工事の費用

財産 \mathcal{O} 取得

40万円

機械名 破砕機

取得予定価格

3564万円

取得先 ナラサキ産業株式会社

【年頭の挨拶

えりも町議会議長 石川 昭彦

どもかかるということで、これからの漁業経営に大きな 貝類は、 類がほぼ全滅するという甚大な被害を受けました。 で全く考えてもみなかった災害に見舞われ、沿岸の魚介 不安を残すことになりました。 昨年は2年にも及ぶコロナ禍に加え、赤潮という今ま 原因と被害は引き続き調査中ですが、ウニやツブなど 新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。 その成長過程から回復には数年あるいは10年ほ

り、 と思います。 えます。 うに、明日への活力として、楽しみは必要なものだと考 動を再開していくかがこれからの大きな課題となります。 2年間にわたり町や地域の行事のほぼ全てが中止とな オリンピックや大谷翔平選手の活躍が話題になったよ コロナの感染を防ぎつつ、どのように文化や経済的活 経済的な落ち込みが大きく影を落としています。 創意工夫を重ねて、 普通を取り戻していきたい

年も健やかで明るく楽しい一年でありますように心から ご祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。 町民の皆様におかれましては、健康に十分留意され本 さて、季節は一年で最も寒い時期になってまいります。

今後

槗

議

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を 持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行 機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策 提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

をしてはどうか。

いて聴

力検

を実 定診等に

施

の補聴器購入に助

成

7

いる特定

お す

負担が大き過ぎる。

費用は高額で経済

的

耳鼻咽

喉 見 な

科 は 聴

で 木 力 齢

東門

査を受けることが

推 的 が

分数果的

だが、

購

早

期

発

難 で

あ

そこで、

加齢

性難

聴

さ

れ

、る。

現

状

町

が

行

加齢性難聴者の 補聴器購入に助成を

の動向を注視し 迅速に対応

目を入れてはどうか。

健診に聴力検

査

 $\overline{\mathcal{O}}$

項 特 早

談等

 \mathcal{O}

対応

は

行つ

7 康

きたい。

把握するため、

聴力低下を

る考えは

な

V 査 健

が、

引き

き職

員

による健



維応議員 槗本

難聴は、

が高まるとされ

る。

いれ適

ば、

迅

速

対応

知

症

などの

IJ

Ź

用

拡

大などが決定

す

て大きな問題

日

常

また、

加

難 査

それぞれ

標金額を設

の資源回

を目的

釧 復

路

町

が

「ウニ

定し実施

している。

また、

道 L 目

も被害を受

の支援とし

しては補

般的

検 性

で 聴

保健 福 祉 課 長

であ は 体 助 症 極 上 ユリスク な ŧ 成 超えるものが 補 るとされ 的 加 で を行 ŋ, 聴器 あ 急 齢 るが、 助 増 なるなど、 性 は片耳 って 成 2万円程度の 0 難 Ļ たいる。 上昇に を行う考え 聴 会話に 当 いる自 は 町 10 65 は、 般的 認 万 歳 0 闰 な 知 消

(控除 る 助 応が必要 「難聴」は早めの対認知症リスクを高める

加現齢に

その

中に 状が

今後、

玉

お

け

性難聴が てくる。

あ

ŋ

鬱

成

制

度や医療費

ょ は

有

 \mathcal{O}

症

年を重 る特

ね

ると加



況を考えると、

ク 財

/ ラウ

フ

アンディン

で新た

な

赤

潮

被

害 財 組

当

町

 \mathcal{O}

厳し

1

政

状

 \Box

流 衰 赤

退 潮

は

被

支援

本

援を行ってはどうか。 産業振興課 |源を確 自の 1で苦し グ \widehat{C}

漁業

者に

町

独

の死がいに対している。

赤

潮

0

調

査

費

甪

 \mathcal{O}

確 が

С

F

様

似

町

む必要がある。 失にも は 若 害 早 なり 1 による漁 ふるさと納税を 期 世 か 代 に **」支援したい** ね 0 取 ŋ な

に活 光の 業者 けた 7 た漁業関係者を支援 に対する寄 予定はないが、 来からあ らふるさと納 税の代理受付を始め するため、 赤 いきたい。 の使い道に追 現状では 潮被害を受けた事 振興に関する事業」 L 等 の 16 用 Ļ の自 支援」と、 る「産業、 C F の ふるさと納 被害を受け 付 治 税の を最大限 体を支援 足加した 12 寄 月 実 施 観従 付 カュ

風の館を ビジターセンター

積極的に要望していく



庄吉議員 大坂

自然を守り、

自

1然の大

れあい楽しんでもらう 切さや理解を深め、ふ 管理する自然公園で、

玉立

公園

は

玉

が

直

接

た調査

などを、

環境

省

7

ている。 では、 係部署に要望すべきと センター化に向け、 用してもらうためにも、 ているが、更に有効活 を添えて展示したり、 植物などの情報を解説 ことも重要な役割とし 公園の利用案内等を行っ |風の館」のビジター 襟裳岬の「風 地 形、 地質、 0 館 関 動

産 業振興課! 長

れた。 年12月に日 係機関との調整から 予定であったが、 月に国立 公園」は、令和 日 高 公園 Щ 程が変更さ 脈 化され **灬襟裳国** 4 各関 年 する 3 定

間

議

員

登山道や施設の整備計 したことにより、 の作成、 玉 立公園 利用に向 化が具体化 現在、

が望まれる「風の館ビジターセンター

国立公園

化

0) 定

準

備

を

の指: 環境省

け 和

日

4

年 12

山

脈

禁裳国 定に向 は 令

公園」 Ć

> が主体となり実 ビジター セン タ 施 0

主な立 おり、 要望していきたい。 大変望ましいと考えて 効に利用されることは 化され、多くの方に有 館」がビジターセンター 2つの要件に襟裳岬 定地区の利用拠点」 該当すると考えている。 町としても、 利用の中心 今後も積極的 地 要件 地 \mathcal{O} うち 風 特 \mathcal{O} は \mathcal{O}

問 中 議

潮 の影響によ 昌 り、

町は水産

資源

0

口

復

ウニ、 が壊滅的な状態となっ マコなどの 赤 真ツブ、ホッキ、 水産 **|**資源 を目指 きと考えるが。 種苗の増産を目 ンター

で真ツブなどの

また、

ナマ

コ は

ウ

指

す

×

種苗生産施設で生産

ているが、

種

當苗生産 おり

術は確立して

増 技 栽培漁業セ

また、新たに水産資

建

設

は

検

産は可能である。

0

産業振興課 長

源増産施設の と漁協

関係機関の 進めていく 会」では、

栽培漁業

振 興 成

協 する

議

で

構

公浩議員 中野

る状況ではなく、 安定的に生産でき で試験段階であり、 しかし、 あくま

目指し、 漁場に放流する活 共同研究で進めて 海道大学大学院と に関する調査を北 動を行ってきた。 陸上でふ化させ、 の殻に産み付けら より漁獲される真ツブ 生産技術の確立を その後も、 の回収を始め、 繁殖行動 平成5年頃 種苗



ツブの種苗
試験栽培されている真

水産試 めて行く。 今後も同 験場と協力し 大学院や栽

と協議 ていく必要があると考 更新や、 題はあるが、 の検討など、 もセンターの 漁協のウニ種苗施設 新たな施設の建設 しながら検 栽培漁業えり 今後漁協 様々な課 利用方法 討

れた

間

援として、

0 支

との

説明があった。

人に

0

て 10 歳以下

万円

]

ポン券給付では

子育て世

帯 18

 \mathcal{O}

生活

助

金交付

を行う

支給することになった当町の給付金は現金

:現金給付し

た場合で

② 国

からは、

自治

体

万円である。

支給額

は

7 2 7

田

臨時特別給付金 10万円の支給方法は

年内に現金-

今回

0

子育

7

世

民生活

臨

特別給

付



神田 修議員

数とその 給付となるようだが。 1 当町 5 額 0 はいくらか。 支給対象者

担はどのようになる いときの費用と事務負 した場合とそうではな ② 10 万円を現金給付 0

給方法を選 当町はどちらの 択 いするの 支

ん施される。 万円は現 万円は 時 特別 シー 金 給 で、 ポ 残 取

5

臨

算を提出した。 削 員 では、 の事 減 括給 が 図られるため 務 負担 付する補 年内に10 で経費 正 予 0

する予定である。 現金一 ③支給方法は、 括給 付 !を実 年 内

付 が など、 扱 負 事業者の 担 の費用 を要することや 当な

する。 ま た、 現 金支給は 職

万円

間 神 田

P

時

間、

事

ど慎重に計 場施 こっては、 央牧 設 を視 場 千歳市 画 0 誘致 [されたも 察するな Ď E 司 <u>当</u>

、置をしているか。

産業振

興課

長

対

て、

どのような

また町は、

その苦情

てきた。

に対して改善要請を行

労力を 公募業務

要

て異臭がすると聞いて

しかし、

いる。

員

一件の苦情があるか。

域

単位

|や個

人

など

が

あ

ŋ

は

中

-央牧

と思う。 風向きによっ

中央牧場の臭気解消は

援するものである。

1

対象者数は727

いる世帯

0

年

収

が

6

万円以

下の

方々

に 9 L

ご連絡ください。口座解約・変更等により振り込みできない場合は、本給付金の支着

子供(0歳から高校3年生まで) 1人当たり現金10万円が給付さ

での子どもを養

育

0 0

がら高

|校3

年生ま 2金は、

施設改善や飼料改良で対応

施設 基準を満たしている。 活 物 ま 完成当初 で、 た糞 性 \mathcal{O} 汚泥 完熟 笛 北 尿 海道の カ 方 堆 処 式 肥 理 0 化 は、

ー か ら 10 件 舞や大和地 ほ こら東風 どの 苦 が

と尿 浄 浄 化 化 古

気になる中央牧場えり、風向きによってにおい

に完成 解を得て建設された。 した。 \mathcal{O} が同規模の千 も農場は、 Ė, 豚 説明会を開 母 域漁業者 北 配 を 豚 設 海 2 [慮し 年間 防 道 生 音 産 地 中 ゴたっ 域 や農業委員 稼働 令和 約 0 央 す 漁業者 施設 防臭· る豚 牧 6 0 催 歳農場を 頭 を 元年 場え 万 て 舎構 頭 を 開 は、 で 理 度 防 餇 ŋ \mathcal{O}

がら、 と が 一 用創出 者が来庁 れた中で稼働され 規模農場で、 設改善や飼料改良など、 因と思われる箇所 いる旨の説明を受け 臭気対策に取り 先日、 町として初め はも状況 町民 番 の場でもあるた Ĺ 要な指導 重 0) を注 主要であ -央牧 理 解が 新たな雇 悪 その 視 組 臭 場 るこ ?得ら ŋ, んで 0 0 L 担 改 な 大 施 原

善要請をしていく。

亮裕議員 高松

赤潮被害漁業者に 支援を

ふるさと納税で

支援財源を確保

独自の支援を考えて えりも町も るために、 者を救済す 弊した漁業

潮被害、 る今回の赤 打ちをかけ

外の方にお願い 寄付金募集、さらに町 く必要がある。 赤潮被害支援の ふるさと納税による ための するば

支援する態勢を築くべ のための基金を創設し、 付を募り、被害者支援 な視野に立って 体 からも広く寄 なく町民や企 援財源 いる。

0) 確

保に努め

は現在、 北海道 7

国

して 15 対 急支援事業と 補正 予算

加 事業者等の支援」を追 に「赤潮被害を受けた 接的 を計 Ļ の「寄付金の使い道」 当町でもふるさと納 いものと想定される 別な被害補填はされ計上しているが、直 漁業者などの支

高

員

かりでは

の被害状況によっていないが、次年度以 \mathcal{O} 広 創 く寄付 設」 は現状考え を募る

えりも高

校 へ の

入学

今後

軽 は

0)

た

格国率公

大学

0)

は

管

で

とは目に見 に増えるこ しナ禍

間

員

生活環境の整備に関する事業 教育、文化活動の振興に関する事業 赤潮被害を受けた事業者等の支援 映画「北の流氷」 (仮題)の製作の実現

ど他

の低迷、

料や資材

追

潮により、 9

ウニはほぼ

月末に発生した赤

「赤潮被害を受けた事業者等の支援」を追加した 当町のふるさと納税ホームページ

学年の人数が3年続け 停止の対象になる。 者が年々減 て20人を下回 道教委によれば りも 高 少傾向 れ ば 募集 ににあ

者を増やすために、 員を活用した公設 ①地域おこし協力隊

情

通 担 えりも高校 存続のために

募集する。

方向性

など、魅力あるカリキ 産業とのふれあい などの自然体験

体験

寮やホームステイ 募集は可能と考えるが、

地元

百人浜の植

樹

体験

と産業など多くの魅力

②全国的

知

5

れ

る

②郷土の歴史、

自然

して学力

水準

的な利用

ï

他町

か

5 0

おり、

 \mathcal{O}

開 討

設

現在考えていない。

|湖や猿留山道の散策

ある教材があ

ŋ,

全国

ラムで全国から生徒を

体 \mathcal{O}

応 生徒 4 町 名 ① 当 校 から な問題であ 1の増員 た指導を遂 の加 人一人に対 は、 見による 配教 玉 員 行 B



こ の 4

年間

令和11年度以降、中卒者は36名を下回り、 えりも高校は2間口維持に黄信号

減少は地中学生全生 方 高 生徒 校 切 数

> 発足し、 性を向上させ、 隣町からの通学の と伝え広げることや近 度や現状の成果をも 今後を考える会」を 増加に結びつけたい。 まずは卒業生の また、「えりも高 学校の存続に 生徒 満

討も必要である。 -徒数 便 校

的にどのような対策を

これらを含め、

将

来

<6>

議会だより NO40 •

 \mathcal{O} 月 ナ 被 ょ 上 旬 認され、 ケ は

赤潮被害の対応は

間

入費は

水揚げ

か

5

向こう数年

は

漁

込

~めず、

種 間

苗購

調

漁場調査や 種苗購入に助成

前

の海

底

の状況

が

把 杳

回

調

査したが



上野 陽司議員

②ウニ漁 不の支援

助成を考えてい ッキやナマコなど 被害 費用 、 る。 など れサ

魚類

0

は難しい。



工種苗 査 分は放流され 漁獲されるウニ コやナマ な であ が 漁協 5 ŋ, 進 コ など 古購 た人 \mathcal{O}

> が ても 減 提 介 供が 類 0 量 販 \mathcal{O} 売上 事

関

と相

町

調査予定である。

海域は、

年明

以

ツブは水中ド

]

であ 環 る真ツ 境 査 íţ 種苗生 魚

全地 海

区

域

では

ほ

s. b `

苗 復 が 見 込 る もの ŋ 資

方法

全員協議会:5つの案件を町と協議

高齢者等冬期生活支援事業 における支給金額の変更

灯油価格が想定を超えて上昇し、10当り110円を 上回る状況であり、現行の8,000円に2,000円を追加 し、一世帯10,000円の支給へ変更する。

150世帯ほどを予定し、現予算額の160万円の枠内 で対応は可能と考える。

近隣町村では、様似町が10,000円で検討中。 浦河町は7,000円である。

※議員の意見

支給額は増えているが、ひと冬の灯油の使用量を 考えると、さほどの効果がないのでは。

成人式の出席対象年齢

民法が改正され、令和4年4月1日より、成年 年齢が満18歳となる。

えりも町の成人式への出席年齢は従来通り「成 人の日(1月)の年度に満20歳となる方を対象と する。

※理由

成年年齢が18歳になり、選挙権等が認められた -方、対象者の多くが親の保護下にある。

飲酒や喫煙等、引き下げ後も法的に認められな い事項も多く、一人の大人として完全に権利と責 任を獲得するのは満20歳であるため。

<u>防災行政無線更新整備事業に</u> 係る工期の延長について

《更新整備事業の内容》

防災行政無線施設の送信設備、屋外拡声受信設備、 戸別受信機等全ての設備を新規格に適合した機器に 更新。

《工期の延長理由》

新型コロナウイルスの影響で、世界的に半導体が不足しており、無線本機に必要となる部品の納入が大幅に遅れている。また、未だ納期の確認が取れない状況であり、当初の工期内に完了が見込めないため。

・当初の工期

令和3年3月16日 ~ 令和4年3月11日

•変 更 後

令和3年3月16日 ~ 令和4年12月15日

工 事 名: えりも町防災行政無線更新整備事業

契約金額:621,500,000円

請 負 者:末廣屋・武田・坂本 特定建設工事

共同企業体

※議員の意見として

①工期内未完了なら違約金は発生しないのか。

- →原因は請負者になく、違約金は発生しない。
- ②工期延長により請負者の経費が増え、請負金額 が増えることにならないか。
- →経費が変わらないことを請負者に確認済。
- ③古い戸別受信機は、下取りしてもらえないか。
- →現行の規格が使えなくなるため更新するものな のでできない。

<u>日高地域広域交通確保対策</u> 協議会における取組状況

《主な決定事項》

・まちづくり支援分(5億円)は、財政規模等により、各町に配分された。

※えりも町分:28,530,000円

・運行継続に必要なバス事業者への支援 まちづくり支援分(5億円)を除く20億5500万円 は、協議会から次のとおり拠出する。 赤字補てん、バス車両購入、車内設備の整備、 運行システム構築、停留所の設置など

※議員の意見として

- ① 庶野~広尾間のバス運行委託について、広尾町 が撤退することはあるか。
- →広尾町は当面、JRバスにお願いする方向である。 ②とまも号、えりも号は様似駅に停車後、営業所 経由で同駅へ再停車しており、運行経路の改善を。 →様似営業所に停車しないよう要望し、今後は一 部改善するようだが、許可の関係でできないもの もあるようだ。
- ③将来的に鉄路の二の舞になるのでは。
- →来年度からコンサルタントを入れて熟慮して いく

《概 要》

当町は国道336号が隣町と結ぶ唯一の道路で、 常に崖崩れや高波の危険にさらされ、たびたび交 通が途絶する地域である。また、想定される千島 海溝沿いの大地震による津波で国道が寸断される 可能性もある。

そのため、国道以外に浦河町や広尾町に抜ける 内陸道路の早期建設を促進し、様似町とともに今 後、期成会の結成を含めた活動をしていく予定。

※議員の意見として

- ①内陸道路のルートは想定済みか。
- →専門的な方にルートの策定を依頼し、それを元 に関係団体に要望していく。
- ②近浦・笛舞間は、少しの波でも越波しているためその対策を急ぐべきではないか。→近浦・笛舞間、冬島・旭間は、重要課題として今後も要望していく。

の国道 打ちあがる近浦地区 高波で越波、小石が



厅管事為問重

令和3年10月19日(火) 調査日

総務文教常任委員会 委員長 成田一人 副委員長 笹谷廣喜 委員 橋本維応 神田 修 上野陽司 產業民生常任委員会 委員長 高松亮裕 副委員長 渡部 泰 委員 大坂庄吉 竹内孝文 中野公浩 議長 石川昭彦

町道「南東洋油駒線」に係る被災について

9月18日から通行止めとなっている町道「南東洋油駒線」の現 状と今後の対応について現地調査を行った。

通行止めの原因は、前日からの大雨が大量の地下水流となって町 道下部に流れ込み、地盤の強度が低下し、法面が崩壊したためである。 復旧に当たっては、避難路としての役割を持つ重要な路線という こともあり、着手まで時間がかかる災害復旧工事は選択せずに、町

入札が終わり次第、すぐに工事に取り掛かり、早期に復旧するよ う対応願いたい。



被災した現場は想像以上に法面が 崩壊していた

ふるさと納税推進事業について

の単独事業として工事を行う予定である。

当町のふるさと納税制度は、令和元年度が3万961件、8億9,728万 4,000円、令和2年度は、3万2,792件、8億6,865万9,700円と、件数 は増えているが寄付額は減少した。

しかし、いずれの年度も8億円台となり、日高管内では最も多い 寄付額である。

ふるさと納税は、当町にとって貴重な財源となっており、教育・ 文化活動や生活環境の整備など幅広い分野で役立てられている。

寄付が減少しないようにリピーターを大切にし、魅力ある返礼品 の提供を業者と協力しながら続けてほしい。



当町のイクラ・サケは 返礼品でも人気の商品

サケ・ウニ等の大量死被害について

9月より発生し、赤潮が原因とも言われているサケ・ウニ等の漁業被害は、 道東方面から日高管内の海域にかけて広い範囲で確認されており、当町で もサケやウニのほかにも被害が心配されている魚種が多数存在している。

現在、道や漁協とともに原因究明と被害調査に当たっているが、資源の 回復や漁業経営を維持するために国や道にも積極的に働きかけ、必要な支 援を行ってほしい。

※紙面の都合上、抜粋して掲載しています。



赤潮被害が最も早く確認された ウニ

ラ L ツ Т 乜 (英語指導助 フェ (27 歳) ル 手 ナ



として、 しました。 たなALT ル ア \mathcal{O} ナン 州 出 ノメリ デ 身 (英語指 育委員 0 ズ *一*力・ ラッ さん カ 導助 セ パリフォ が 숲 着 ル 0) 手 新

の文 招 を 講 セ 町 覚えた 男 5 人兄弟 強 致 0 義 ル 化に興 を受け さと て、 さん 事 ŋ に ŧ 採 は、 寒 着 用 J 1 さ 任 لح لح 味 た \mathcal{O} Е 0 思 に な を 時 大学で日 0) 募 Т 4 持ち日 りま 驚 初日 集に から、 ったことも 番目 外国 いたそう は、 した。 応募 \mathcal{O} ラッ 青 日 本 本 風 年 語 本 語 \mathcal{O}

町へ予算要望書提出

第11回子ども議会

第5回臨時会

議会運営委員会

全員協議会

全員協議会

第6回定例会

議会運営委員会

えりも町成人式

広報広聴常任委員会

日高東部消防組合議会

日高東部衛生組合議会

えりも町林活議連植樹

あ

な

1

力

IJ

ル 温

ニア

0)

気

10月27日

11月16日

11月30日

12月10日

12月17日

12月24日

1月13日

1月20日

9日

1月

11月

12月

が

暖

%で雪が

8日

7 日

0

を フ 弱

感 オ

たそうです。

セ か ルさん。 5 庶 授 野 及業を始 小を最 初 8 に て 10 11 る 月 ラ 15 ツ 日

ま 11 小 担 、ます。 ·学 3 で 任 亡や教科に 0) 日 英語 年生 に 4 指 か 担 (5 導 任 5 高校3 にあ ととも 時間 た を 0 年 学 7 生 級

たそうです。 楽しく授業が出来る」と思っ L 間 張 各教 が経 てくれるようになり、 感を感じ っに 室 \mathcal{O} 0 ました。 授 れ、 業で 気軽に は でも 最 初

接 時 緊

オンライン 「子ども ムプレ イ 今でもパ \mathcal{O} t 頃 j は、 ムに夢中」 に ソ になるこ ブ コ 口 0

とが

 \mathcal{O} ット た ま た、 め

1 \vdash み ま \mathcal{O} す 日 ボ を利 \mathcal{O} と話してく 体] ス グ 用 力 ポ ル つづくり 施 が 設 てスポ 得 ツ 意 は 通 は れ で バ ま] 0 7 ツ そ ス 休

取

会終了後、

す

くぐに

作

成 定

議

会だ

ょ

9

は、

謝 申し上げます。 取 材 のご 協力に 心から 感

ます。 もら 貢献してくれることになり に親しみや興味をもって 今後も、 英語教育の充実に 授業を通して英

頂き、 委員会の皆様 また、 あ りがとうござい 取材時には、 のお力添えを (取材・ 神田田 教育 ま

> ラッセルさん もに熱心に授業を進める 学級担任や教科担任とと



広報広聴常任委員会 広報広聴常任委員会

> う B ŋ 民

す B 0)

か町

新型コロナウイルス感染症対策によって 中止になった主な行事

◎1月に予定していた行事 ・えりも町消防出初式

> 副委員 委員 委員長 長 委員会委員 橋本 竹内 高 松 維

修 孝 亮 維 文 裕 応

迎えま 議会だよ ら 10 努力していきます。 すく 皆 1 紙 様 痛 L 面 伝えられ に 年 を作成し た。 ŋ 議 目 さ 会活 せ 今後 本号 5 る、 今 できる 動 上野 を で ŧ, 年 れ 40 読 わ で ま

号 創

を

刊

カ

りま 分担 開催 まず、 繰り返し完成となります。 成 5 りかかります。 な 年 · 回 し、 を練ります。 さを 自 誤字脱字の 分 委員 0 0 そ そ 読 れぞれ 玉 作成時には、 み合わ \mathcal{O} 後、 へで担 語 力と漢 チ これ 委員 せ 原 当 エ を 紙 稿 ツ ク、 を数 会を 字 を L 面 力 毎 な

口 構 が

 \mathcal{O} 口